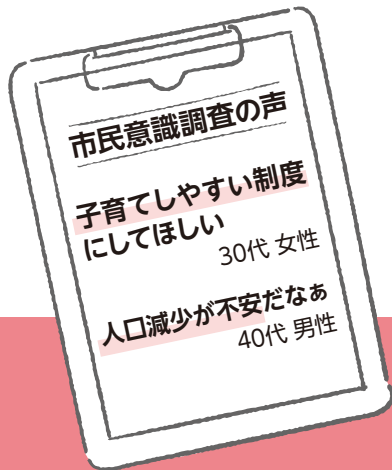


人口減少に立ち向かう

令和5年度

施政方針

市民の声に「共感」し、共感から生まれた施策で



人口減に危機感

令和5年度は人口減少という大きな壁に果敢に挑戦し、これに真正面から立ち向かう一年にします。

第1の柱は「子ども・若者支援」です。将来のまちの主役は、今を生きる子ども・若者です。今一度子ども・若者支援を大胆に進めます。

第2の柱は「まちの価値を創造」することで、米原への愛着を育て、市外から人を呼び込むことにつなげます。

米原市は責任を持ってやらなければならないことを実行し、米原の未来を市民の皆さんとともに創る、「住みよさ実感米原市」を実現します。



人口減少対策最重点施策

01 子ども・若者支援

18歳まで医療費無料化

子育て世帯の経済的不安を軽減することで、誰もが安心して子育てできるまちとなるよう10月から18歳までの医療費を無料化します。また、現在、子どもの人数が増えることにより、親の負担が増加していることから、国民健康保険税の子どもに係る均等割の負担を18歳まで実質ゼロにします。

子育て支援策の所得制限を撤廃

子どもを応援する支援が、親の経済事情によって左右されることがないように、中学校入学支援金と、部活動用具等購入補助金、令和5年度募集の給付型奨学金の所得制限を撤廃します。



保育環境の充実

公立と民間にある保育士給与の格差の改善と、保護者と保育士の負担となっていた使用済み紙おむつは、園での処理に切り替えます。



人口減少対策最重点施策

02 まちの価値を創造

新たな価値の創造：環境

脱炭素の地域づくりを推進

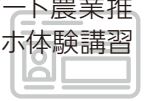
家庭へのスマートエコハウスの普及や、電気自動車等の導入を支援します。また、プラスチックごみの削減に向けた無料の給水スポットを追加します。



新たな価値の創造：デジタル

DX・デジタル化の推進

デジタル社会を加速させるため、マイナンバーカードを活用した便利な窓口サービスの提供や、公共施設のオンライン予約の導入など市民サービスの利便性向上を進めます。また、農業分野でのスマート農業推進や、スマホ初心者向けのスマホ体験講習会も実施します。



今ある価値を活かす：伊吹山

伊吹山の環境再生

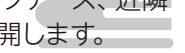
荒れている山頂の植生保護を専門に行う伊吹山レンジャーの配置と、シカ対策としてドロップネットと呼ばれる新たな仕掛けを導入します。



今ある価値を活かす：米原駅

新幹線停車駅である米原駅の活用

インバウンド需要の増加を視野に、観光振興を担う関係団体やJR東海ツアーズ、近隣市と連携した周遊観光を展開します。



問 市 政策推進課 ☎ 53-5162 FAX 53-5148

6つの基本目標を進める主要事業

福祉 健やかで安心して暮らせる支え合いのまちづくり

NEW 開業医誘致等地域医療振興事業

医師の高齢化や後継ぎ不足などで市民に不安が広がっているため、市内での開院や診療所等の継続等、地域医療の資金面を支援する制度を新たに設けます。

NEW 保育所等入園選考でのAIシステム活用

電子申請や、AIによる入所選考システムの活用で、入園選考業務の効率化や保護者への入所結果をこれまでより早くお知らせし、安心していただけるようサービス向上を図ります。

環境・防災 水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり

(仮称)磯公園の整備

子育てで世帯が集い、遊び、安らぐことのできる空間を創るため、令和9年度のオープンを目指し、入江地先に都市公園「(仮称) 磯公園」の整備を進めます。

上下水道施設の長寿命化

広域避難所へのマンホールトイレ設置や、磯浄水場の改築など、社会基盤である上下水道施設の長寿命化と強靱化を引き続き進めます。

都市基盤 心地よく暮らせるにぎわいと交流を支えるまちづくり

近江長岡駅のバリアフリー化・柏原駅周辺地域活性化

公共交通の重要なインフラである駅の周辺地域活性化の一環として、柏原駅前周辺の整備や情報板の設置等を行うとともに、近江長岡駅にエレベーター等を設置するバリアフリー化工事のための実施設計を行います。

教育・人権 ともに学び輝き合う人と文化を育むまちづくり

NEW パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

性的少数者などの性の多様性を尊重するまちを実現するため、市は公に宣誓を証明し、二人が互いを人生のパートナー・家族として暮らしていけるよう応援します。

NEW ステップ・フォワード・プログラム

コロナ禍による不登校など生きづらく、悩みを抱えた子どもたちに寄り添うため、まずは、市内1カ所の中学校で自立支援専任の教員を配置し、誰一人取り残さないきめ細かな支援を進めます。

産業経済 地域の魅力と地の利を生かした活力創出のまちづくり

NEW 事業者人材育成支援事業

原材料価格の高騰や、売上の減少により新たな経営強化への取り組みが厳しいとの企業の声を受け、従業員の資格取得など人材育成に前向きに取り組む企業を応援する制度を新たに設けます。

NEW まいばら農業塾(担い手育成事業)

農業に関心のある若者や移住希望者向けに、生産から販売までを学ぶことができる「まいばら農業塾」を開講し、担い手不足を解消します。

都市経営 まちづくりを進めるための基盤

経費削減による行政運営の効率化

公用車の台数削減を進めるほか、民間カーシェアリングサービス等の新たな運用方法を検討し、庁舎の統合による経費削減と行政運営の効率化を図ります。

米原へ

長

引くコロナ禍や、不安定な世界情勢、物価、年金、賃金、雇用など、暮らしと将来への不安は、先行きが見通せない生きづらさとして、市民の皆さんから伝わってきます。

その声の中に、「米原に住み続けたいからこそ」、「米原が大好きだからこそ」、「人口が減り、衰えていくまちの未来が心配」、「このままではまちが続かないのではないか」という切実なる叫びがあります。

この「人口減少は、静かなる有事」であり、私は、非常に強い危機感を持っています。

米原市では、子どもや若者にとっての向き合い、子育てを応援することにより、地域社会全体で子育てを支援するまちへと転換を図ってまいります。また、市民の皆さんに「米原」への愛着を持っていただけるよう、まちの価値を創造し、未来を切り拓いてまいります。

いよいよ正念場を迎えています。市民の不安を払しょくし、私たち市役所は市民に最も身近な行政として、市民の声に「共感」し、互いに「共鳴」することで、持続可能なまちとなるよう、前進を図ってまいります。

平尾 道雄